

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
皆野町・長瀨町	皆野・長瀨下水道組合	平成25年度～平成29年度	平成25年度～平成29年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B /目標A
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 24年度)	目 標 (平成 30年度)	実 績 (平成 30年度)	実績B /目標A
総人口	18,724	18,000	16,821	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	7,980	9,982	38.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	42.6%	55.5%	72.9%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	%	%	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,682	5,298	—%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.7%	29.4%	22.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	7,062	2,720	61.5%

※目標未達成の指標のみを記載

## 2 目標が達成できなかった要因

- ・単独処理浄化槽や汲み取りトイレの使用世帯に対して、合併浄化槽への転換を促すための戸別訪問や、転換のお願いの文書を送付したが、高齢者世帯が多く、経済的余裕がないことや、後継者がいないため転換を考えていないことが要因として挙げられた。また、山間部において、放流先が確保できず、転換できないケースがあった。さらに、人口減少が著しいことも目標が達成できなかった要因として考えられる。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 34 年度まで

- ・単独処理浄化槽使用世帯に対し戸別訪問をし、積極的に合併浄化槽への転換を呼びかけ、より一層の転換を促す。
- ・町広報への掲載、地区内回覧

(都道府県知事の所見)

皆野町、長瀬町では人口減少及び高齢化等により浄化槽の転換が困難な状況であり、今後もその状況は続くと思われる。  
上記方策により一層の転換を促すことが必要である。  
また埼玉県では今年度から、共同放流管設置費の補助事業を開始したため、放流先がない場合には利用を検討されたい。  
埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、引き続き合併処理浄化槽への転換を推進していただくようお願いしたい。

